

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、釧路川水系の特徴である上流部の屈斜路湖・下流部の釧路湿原など広大な自然環境がもつ貯留・遊水効果を保全するとともに、これら自然地下流の市街地の事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施し、国管理区間においては、釧路川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和35年3月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削
- ・下水道雨水管等の整備
- ・土砂災害対策(砂防関係施設の整備 等)
- ・治山対策、森林整備
- ・内水被害軽減対策
- ・釧路湿原や屈斜路湖など、貯留・遊水効果がある自然地の保全 等



釧路湿原や屈斜路湖など、貯留・遊水効果がある自然地の保全
(釧路開発建設部、根釧西部森林管理署、釧路総合振興局、
釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村)

釧路川流域の市街地を守る河道掘削
(釧路開発建設部、釧路総合振興局)

●被害対象を減少させるための対策

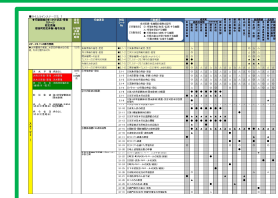
- ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定、まちづくり(立地適正化計画)
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討
- ・釧路川流域に建築する人への災害リスク情報の提供
- ・釧路湿原など自然地の保全 等



立地適正化計画(釧路市)

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

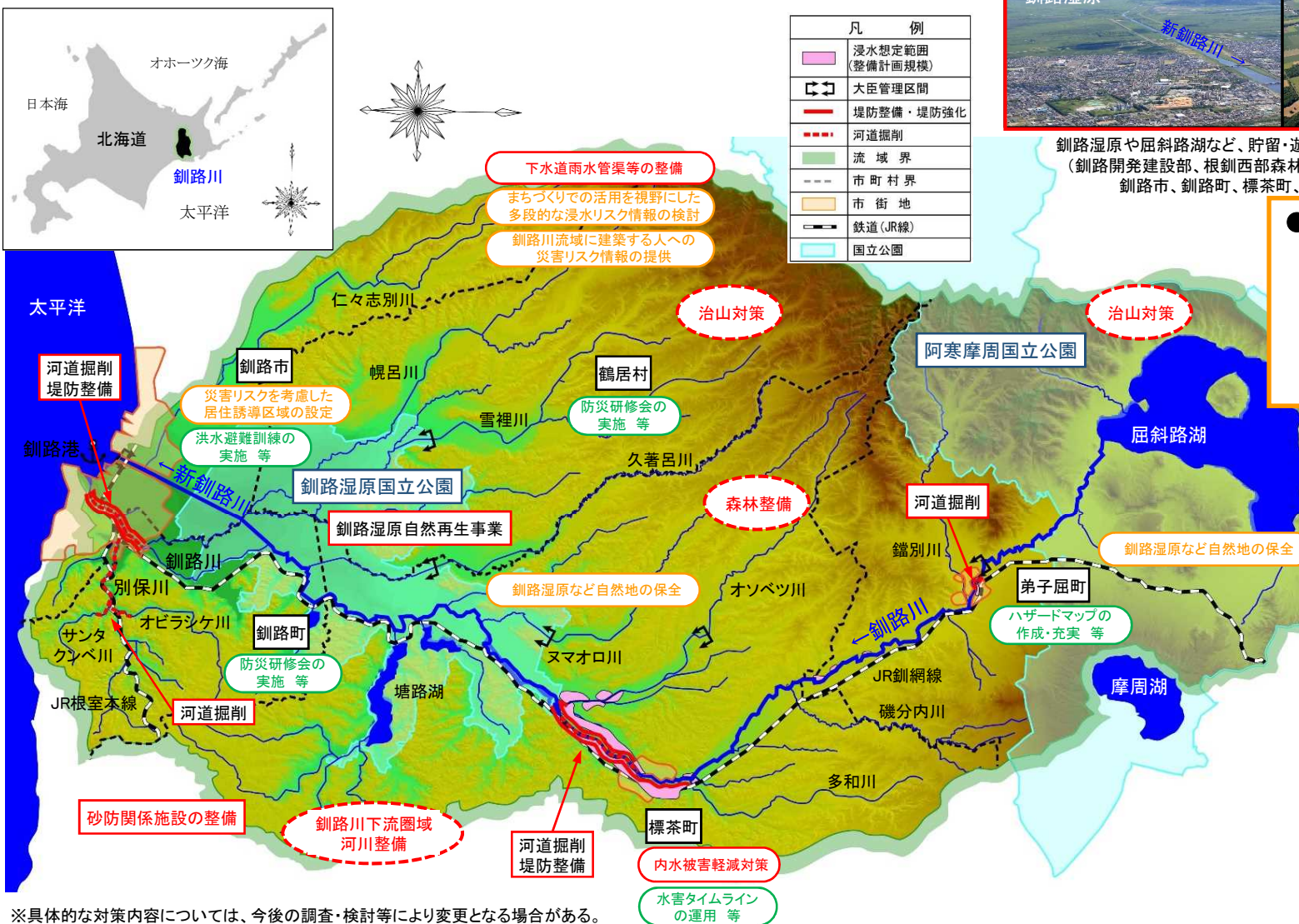
- ・地域住民を対象とした防災研修会や避難訓練の実施
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画・訓練等に関する取組を促進
- ・水防資機材の充実・維持
- ・水害リスク空白域の解消に向けた取組
- ・ハザードマップの作成、充実と周知
- ・タイムラインの運用と精度向上
- ・幼少期からの防災教育の実施
- ・重要水防箇所の共同点検
- ・防災気象情報の利活用促進 等

ハザードマップの作成、充実
(釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村)

水害タイムラインの運用(標茶町)

●グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

(案)

釧路川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

- 釧路川では、釧路川水系の特徴である上流部の屈斜路湖・下流部の釧路湿原など広大な自然環境がもつ貯留・遊水効果を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、道、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】釧路川上・中・下流部の人口・資産が集中する市街地での浸水被害を防ぐため、釧路湿原や屈斜路湖など貯留・遊水効果がある自然地の保全・再生、及び水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施するとともに、下水道雨水管渠等、砂防関係施設、治山対策、森林整備、ハザードマップの作成・充実等を実施予定。
- 【中期】釧路川中・下流部の人口・資産が集中する市街地での浸水被害を防ぐため、引き続き釧路湿原や屈斜路湖など自然地の保全・再生及び水位低下を目的とした河道掘削及び堤防整備等を主に実施するとともに、内水被害軽減対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策、被害対象を減少させる対策等を実施予定。
- 【中長期】釧路川下流部の浸水被害を防ぐため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施し、釧路湿原や屈斜路湖など自然地の保全、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策及び被害対象を減少させる対策を引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。また、多自然川づくりや自然環境が有する機能活用に取り組む。

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	釧路川上流部の弟子屈町市街地を守る河道掘削及び堤防整備	釧路開発建設部	釧路川上流部		
	釧路川中流部の標茶町市街地を守る河道掘削及び堤防整備	釧路開発建設部	釧路川中流部		
	釧路川下流部の釧路市及び釧路町市街地を守る河道掘削及び堤防整備	釧路総合振興局	別保川、釧路川下流部		
	浸水被害を軽減し市街地等を守る下水道雨水管等の整備	釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	下水道雨水管渠等の整備		
	市街地を土砂崩壊から守る土砂災害対策	釧路総合振興局	砂防設備の整備		
	山地災害から流域を守る治山対策	根釧西部森林管理署 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	治山施設等の整備		
	森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備対策	根釧西部森林管理署、森林整備センター 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	植栽・間伐などの森林整備		
	標茶町市街地を守る内水被害軽減対策	標茶町	内水被害軽減対策(標茶町)		
	釧路湿原や屈斜路湖など、貯留・遊水効果がある自然地の保全	釧路開発建設部、根釧西部森林管理署 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	釧路湿原や屈斜路湖など貯留・遊水効果がある自然地の保全		
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定、まちづくり	釧路市	災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定(釧路市)		
	釧路川流域に建築する人への災害リスク情報の提供	釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	釧路川流域に建築する人への災害リスク情報の提供		
	釧路湿原など自然地の保全	釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	釧路湿原など自然地の保全		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	釧路開発建設部、釧路地方気象台 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	ハザードマップの作成・周知、防災研修会や避難訓練の実施 等		
	早期復旧・復興の体制強化	釧路開発建設部 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	水防資機材の充実 等		
グリーンインフラの取組	釧路湿原など自然地の保全 旧川復元、土砂流入対策、湿原再生、森林再生、森林整備、治山対策	釧路開発建設部 根釧西部森林管理署、森林整備センター 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	旧川復元・土砂流入対策・湿原再生、森林再生		
	魚類等の生息環境の保全	釧路開発建設部 釧路総合振興局	魚類等の生息環境の保全		
	小中学校や一般住民などへの環境学習、水辺の楽校を活用した環境学習、かわまち・ミズベリングの推進など地域活性化	釧路開発建設部 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	小中学校や一般住民などへの環境学習 水辺の楽校を活用した環境学習 かわまち・ミズベリングの推進など地域活性化		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業費】

■事業規模

- 河川対策 (約290億円)
対策内容 河道掘削、堤防整備 等
- 砂防対策 (約3億円)
対策内容 砂防関係施設の整備

- 下水道対策 (約20億円)

対策内容 下水道雨水管等の整備 等

※1: 国・北海道の河川整備計画の残事業を記載

※2: 北海道による砂防事業の残事業費を記載

※3: 各市町における下水道事業計画の残事業費(雨水関連)を記載

※内容については精査中

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

『釧路湿原など次世代に引き継ぐべき広大な自然環境の保全・再生』

- ・小中高等学校や一般住民などへの環境学習
- ・水辺の楽校を活用した環境学習
- ・かわまち、ミズベリングの推進などによる地域活性化



(案)

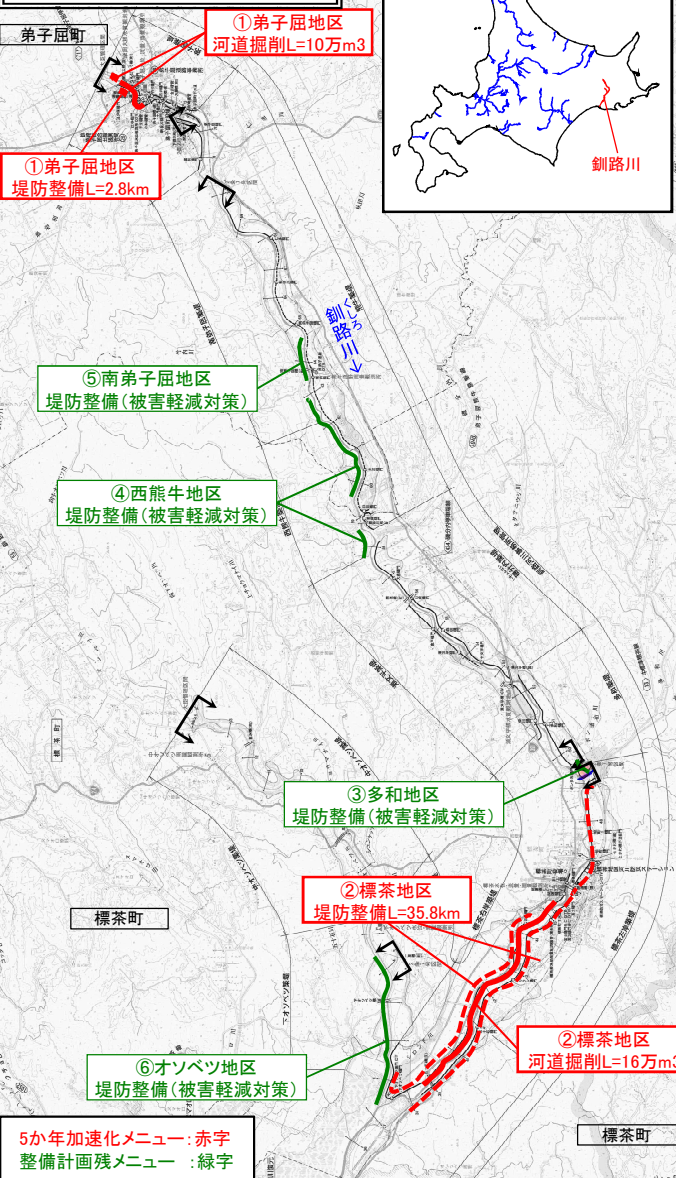
釧路川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

○弟子屈地区での河道掘削等の河川改修事業がR7年までに完了することで、弟子屈市街地において、戦後最大規模となる浸水被害を解消することが可能。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約72%→約90%

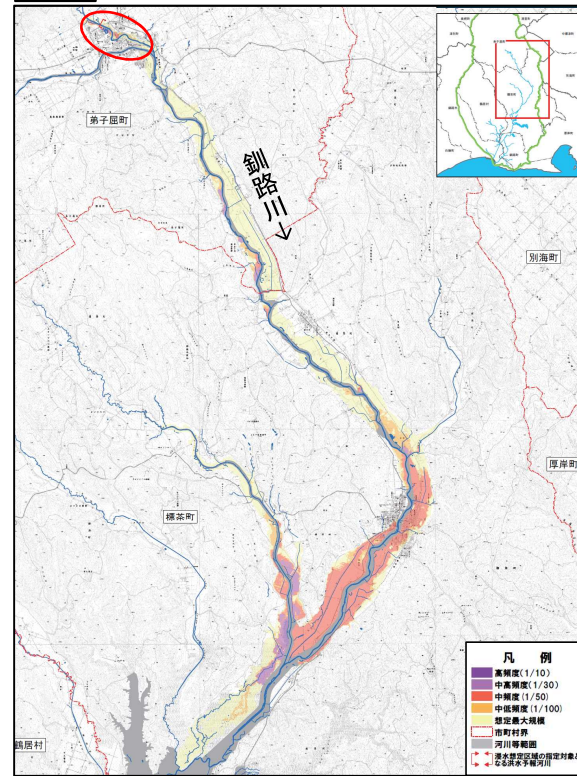
実施箇所・対策内容



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

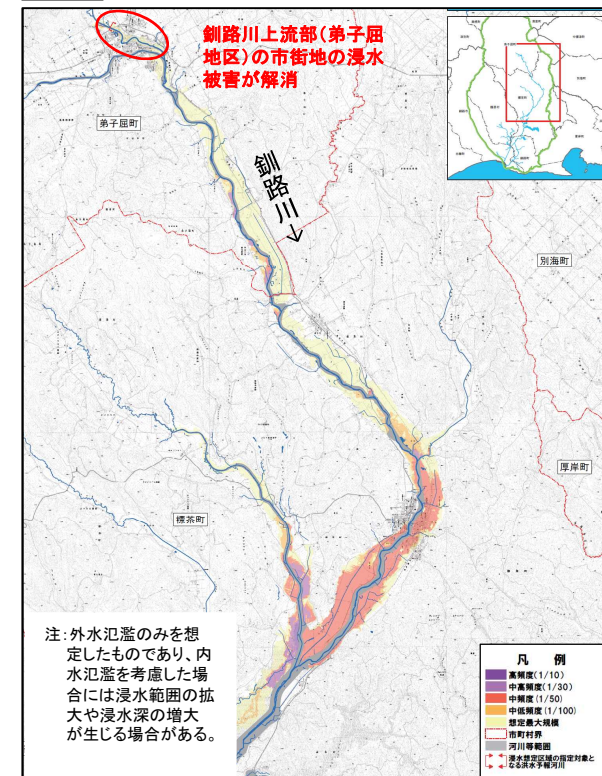
現状

※外水氾濫のみを想定したものである。



短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

区分	対策内容	区間	工程	
			短期 1/〇→1/〇	中長期 1/〇→1/〇
関連事業			R3	
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	河道掘削 30% →100%	①弟子屈地区		100%
		②標茶地区	47%	100%
	堤防整備 6%→100%	①弟子屈地区		100%
		②標茶地区	26%	100%
		③多和地区		100%
		④西熊牛地区		100%
		⑤南弟子屈地区		100%
		⑥オソベツ地区		100%
被害対象を減少させるための対 策	自然地の保全	釧路湿原など		100%

【短期整備完了時の進捗】

- ①弟子屈地区 河道掘削 100%
- ②弟子屈地区 堤防整備 100%
- ③標茶地区 河道掘削 45%
- ④標茶地区 堤防整備 25%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

(案)

釧路川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備率



整備率 ○○%

(令和○年○月時点)

流出抑制対策の実施



○○施設

(令和○年○月時点)

山地の保水機能向上・土砂・流木対策



治山対策・森林整備

○○箇所

(令和○年○月時点)

砂防関連施設の整備箇所数

○○施設

(令和○年○月時点)

立地適正化計画における防災指針の作成



○○市町村

(令和○年○月時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定

○○河川

(令和○年○月時点)

内水浸水想定

○○団体

(令和○年○月時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画

○○施設

(令和○年○月時点)

個別避難計画

○○市町村

(令和○年○月時点)

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策



河道掘削による流下能力の向上
(釧路川: 釧路総合振興局)



雨水管の整備による内水被害の軽減対策(釧路町)



既設治山施設の老朽化対策・機能強化(鶴居村内: 釧路総合振興局)



治山ダム設置による土砂の流出抑制
(弟子屈町内: 根釧西部森林管理署)

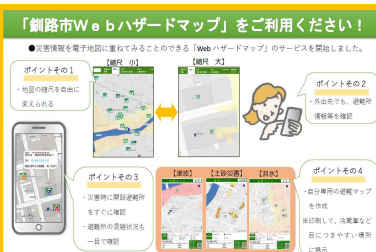


流域治水に資する除間伐等の森林整備(森林整備センター)

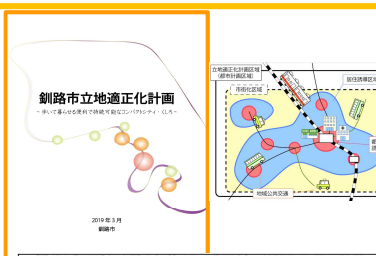


護岸工による土砂流入対策
(久著呂川: 釧路総合振興局)

被害対象を減少させるための対策



様々な災害に関する情報を重ねて表示できるなど、Webを活用した災害リスク情報の提供の充実(釧路市)



地域区分	大森地区	星が池地区	冠和地区	高野大森地区	新大森地区	新大森地区	新大森地区	新大森地区	新大森地区
洪水浸水想定区域	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土砂災害警戒区域	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河川浸水想定区域	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○

立地適正化計画に基づき、災害が想定される区域も考慮して設定した居住誘導区域を活用したまちづくりの推進(釧路市)

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



簡易な手法により策定した洪水氾濫危険区域図を用いて、従来の防災ガイドマップの補完及び更新(弟子屈町)



防災意識を高めることを目的として、中学生を対象に防災教室を実施(鶴居村)



防災研修会にて、融雪出水を対象とした避難所運営ゲーム(愛称:DoIはぐ)を実施(標茶町)

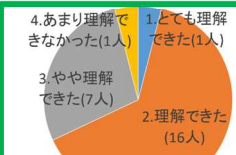


气象台と共同で小学生を対象に川の防災教育を実施(標茶町)

標茶町研修会終了後のアンケート結果(流域治水について抜粋)



Q1. 流域治水という言葉を知っていましたか?



Q2. 流域治水の考え方や流域における対策について理解できましたか?



Q3. 流域住民としての役割を理解できましたか?